

電子ジャーナル活用術

- 本日のテーマ 電子ジャーナルの特徴を理解し、効果的な利用法を学ぶ
- 論文の探し方
 - 1) データベース検索や文献リストで目的に合った論文を探す／研究分野の主要誌をチェックする
 - 2) オンラインで本文が入手できるか探す
 - ① 東京大学で契約している電子ジャーナルを探す ← 今回の講習会で解説するのは、この部分
 - ② 無料で一般公開されている文献を探す
 - 3) 東大内の図書館で入手できるか探す
 - 4) 学外の図書館から取り寄せる
- 電子ジャーナル利用のメリット
 - ・24 時間 365 日いつでも読める
 - ・図書館に向かず研究室や端末室などで読める(手続をすれば一部は自宅などでも閲覧 OK)
 - ・論文の掲載が紙の雑誌よりも早い(Online First, E-pub ahead of print, etc.)
- 講習会で使用するデータベースの入口サイト



<http://www.lib.m.u-tokyo.ac.jp/>

The screenshot shows the library's homepage with several callouts:

- 雑誌名から探すときはこちらから**: Points to the search bar and the "E-JOURNAL PORTAL" button.
- 初めて医学図書館を使う方は、まずここをチェック。**: Points to the "MyOPAC" section.
- 論文タイトルから探すときはこちらから**: Points to the "TREE" database icon in the "電子リソース" section.

- 電子ジャーナルを利用する前に: 利用上の注意
 - ・東京大学の構成員以外に利用させないこと
 - ・個人の学術研究・教育目的以外で論文を入手したり、入手した論文を頒布したりしないこと
 - ・論文の電子ファイルを第三者に流通させないこと
 - ・論文の**大量ダウンロード厳禁**
 - ※「大量ダウンロード」とは、短時間での雑誌 1 号丸ごとのダウンロードや、検索ロボットによる自動ダウンロードなど。短時間にリロードを繰り返した場合も、出版社から「大量ダウンロード」と見なされる場合がある。

参照: 利用上の注意(附属図書館作成)

http://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/ej/notice_new.html

この資料に関するお問い合わせ: 東京大学医学図書館情報サービス係講習会担当
 TEL: 03-5841-3667(内線:23667) E-mail: medkoshu@m.u-tokyo.ac.jp

Step1. 電子ジャーナルで入手できるか探す

Case1.

手元にある論文の参考文献リストに載っていた、以下の雑誌論文を入手したい。
 電子ジャーナルで入手できるかどうか探してみよう。

Small EM, et al., Regulation of PI3-kinase/Akt signaling by muscle-enriched microRNA-486. Proc Natl Acad Sci U S A 107(9), 4218-23, 2010.



+



<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed?otool=ijputmlib>【東大専用入口】

- ① PubMed トップ画面で Single Citation Matcher をクリック。
- ② 雑誌名と巻号、著者名、論文タイトルなどから検索。
- ③ 検索結果の論文情報が自分の探している論文であることを確認し、「UTokyo Article Link」ボタンをクリック。
- ④ 該当論文の電子ジャーナルのページが開く。
- ⑤ PDF ファイルをクリックすると、論文の全文を読む。

PubMed Tools

[PubMed Mobile](#)

① [Single Citation Matcher](#)

[Batch Citation Matcher](#)

[Clinical Queries](#)

[Topic-Specific Queries](#)

② PubMed Single Citation Matcher

Use this tool to find PubMed citations. You may omit any field.

Journal • Help

Date (month and day are optional)

Details	Volume	Issue	First page
	<input type="text" value="107"/>	<input type="text" value="9"/>	<input type="text" value="4218"/>

Author name • Help

Limit authors Only as first author Only as last author

Title words

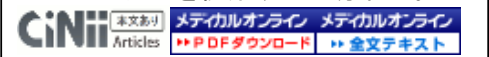
Search

電子ジャーナルへのリンクアイコンまたは「UTokyo Article Link」ボタンをクリック。
 ※“Free Full Text”または“Open Acces”と書かれたアイコンがある場合は、SSL-VPN や認証 GW を経由しなくても学外から全文にアクセス可能。

POINT!

UTokyo Article Link は、PubMed に限らず東大で契約しているさまざまな文献データベースに表示されるので、検索して読みたい論文を見つけたら、このボタンを押してみるのをお勧め。ただし、PubMed は東大専用入口からアクセスしないと UTokyo Article Link が表示されない。

医中誌 Web の場合、下記のアイコンが表示された論文はワンクリックで全文にアクセスできるので、アイコンがある場合はそちらを、ない場合は UTokyo Article Link をクリックして電子ジャーナルを検索すると効率的。



Abstract ▾

Proc Natl Acad Sci U S A. 2010 Mar 2;107(9):4218-23. doi: 10.1073/pnas.1000300107. Epub 2010 Feb 8.

Regulation of PI3-kinase/Akt signaling by muscle-enriched microRNA-486.

Small EM¹, O'Rourke JR, Moresi V, Sutherland LB, McAnally J, Gerard RD, Richardson JA, Olson EN.

Author information

Abstract

microRNAs (miRNAs) play key roles in modulating a variety of cellular processes through repression of mRNA targets. In a screen for miRNAs regulated by myocardin-related transcription factor-A (MRTF-A), a coactivator of serum response factor (SRF), we discovered a muscle-enriched miRNA, miR-486, controlled by an alternative promoter within intron 40 of the Ankyrin-1 gene. Transcription of miR-486 is directly controlled by SRF and MRTF-A, as well as by MyoD. Among the most strongly predicted targets of miR-486 are phosphatase and tensin homolog (PTEN) and Foxo1a, which negatively affect phosphoinositide-3-kinase (PI3K)/Akt signaling. Accordingly, PTEN and Foxo1a protein levels are reduced by miR-486 overexpression, which, in turn, enhances PI3K/Akt signaling. Similarly, we show that MRTF-A promotes PI3K/Akt signaling by up-regulating miR-486 expression. Conversely, inhibition of miR-486 expression enhances the expression of PTEN and Foxo1a and dampens signaling through the PI3K/Akt-signaling pathway. Our findings implicate miR-486 as a downstream mediator of the actions of SRF/MRTF-A and MyoD in muscle cells and as a potential modulator of PI3K/Akt signaling.

PMID: 20142475 [PubMed - indexed for MEDLINE] PMCID: PMC2840099 **Free PMC Article**

Send to ▾

Full text links



Save items

☆ Add to Favorites ▾

Similar articles

- Downregulated microRNA-32 expression induced [Biochem Biophys Res Commun. 2013]
- MicroRNA-10a controls airway smooth muscle cell proliferation via direct target [FASEB J. 2014]
- Down-regulation of microRNA-223 promotes degranulation via the PI3K/Ak [PLoS One. 2015]

④

⑤

1つのPDFファイルに複数の論文が収録されている場合など(例:会議録)、正しくリンクが形成できずにリンク先がエラーページになることがある。
 そのときは「詳細を見る」を開いて「雑誌をブラウズ」をクリックし、目次を辿ると目的の論文に辿り着ける場合がある。

⑤

⑤

補足 PubMed や医中誌 Web で論文情報が見つからない場合

<http://tokyo.summon.serialssolutions.com/>
 TREE には学外からもアクセスできますが、電子ジャーナルへのアクセスは【学内限定】です。

(例) Anthony, William A., Recovery from mental illness: The guiding vision of the mental health service system in the 1990s. Psychosocial Rehabilitation Journal, Vol 16(4), 1993. pp. 11-23

医療・看護関連の論文であっても、心理学・社会学など他の分野の雑誌に掲載された論文はPubMed や医中誌 Web の収録対象外となっている場合が少なくない。

…TREE なら、東京大学で契約している全分野の電子ジャーナルを論文単位で検索できる。

【TREE 検索画面】

【TREE 検索結果一覧画面】

【電子ジャーナル提供サイトの画面】

補足 2 雑誌のタイトルから本文を探す場合



http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ext/ejportal/

検索は学外からでも可能ですが、電子ジャーナル本文を読むためには、SSL-VPN/認証GW サービス経由でのアクセスが必要です。(Free マーク付きのものは学外からも OK)

まだ医中誌 Web などのデータベースに収録されていない最新号掲載の論文を読みたいときや、連載など特定の雑誌に掲載された複数の論文を続けて読みたいときなどは、雑誌タイトルから電子ジャーナルの目次を辿る方が便利な場合もある。

(例)雑誌「オペナーシング」27 巻 1 号～28 巻 3 号に連載された「まずはこれだけ押さえておこう！ 看護における論文の書き方」全 15 回をまとめて読みたい。

【E-JOURNAL PORTAL検索画面】

電子ジャーナル・電子ブックを探す (タイトル・ISSN/ISBN)

次の全ての語を含む雑誌名・書名 検索 クリア

【注意！】
 論文名ではなく、雑誌名で検索。
 雑誌名は途中まででも OK。

【E-JOURNAL PORTAL検索結果一覧画面】

オペナーシング (0913-5014) タイトル詳細 ulrichsweb.com™

from 2005 to 6カ月前 in via Off-Campus access service

【注意！】
 利用可能範囲を確認すること。
 全号利用可能とは限らない。

データベース名をクリックすると、そのジャーナルのトップページに移動する。
 via Off-Campus access service マーク付きのものは、SSL-VPN または認証 GW サービスを経由して学外から全文アクセス OK。

【電子ジャーナル提供サイトの画面】

バックナンバー：オペナーシング

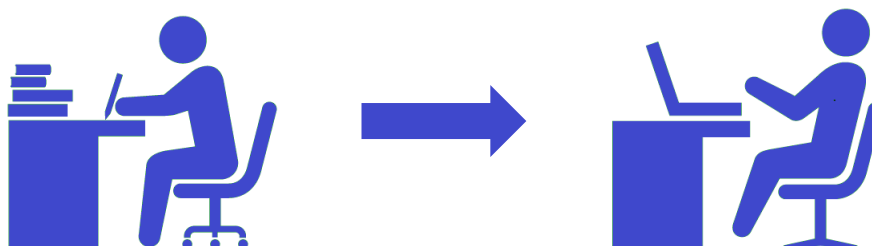
※特定の雑誌を巻号まとめて大量にダウンロードすることは禁止しており

この雑誌の関連分野の電子書籍はこちら

年	Vol. / No.
2015	30-1 30-2 30-3 30-4
2014	29-1 29-2 29-3 29-4 29-5 29-6 29-7 29-8 29-9 29-10
2013	28-6 28-7 28-8 28-9 28-10
2012	27-1 27-2 27-3 27-4 27-5 27-6 27-7 27-8 27-9 27-10 27-11 27-12

各号の目次から論文本文にアクセス

電子ジャーナルの活用で研究の効率が変わる！



②無料で一般公開されている文献を探す

Case2.

手元にある論文の参考文献リストに載っていた、以下の雑誌論文を入手したい。
 PubMed から UTokyo Article Link を辿ったが、「ジャーナルは見つかりませんでした」と表示された。
 オンラインでは入手できないのだろうか。

Songu M, Cingi C, Sneeze reflex: facts and fiction. Ther Adv Respir Dis. 3(3), 131-41, 2009.

UTokyo Article Link +   <http://scholar.google.co.jp/?hl=ja>

- ① PubMed 検索から UTokyo Article Link をクリックするところまでは Case1.と同じ。
- ② UTokyo Article Link ナビゲーション画面の「3. 他の情報資源」から、Google Scholar のバナー右側の「By Article Title」をクリック。
- ③ 検索結果一覧画面の右側に表示される「researchgate の[PDF]」をクリック。
- ④ 本文 PDF が表示される。

②



3. 他の情報資源 / Other Resources

	By Article Title	By 1st Author
	By Article Title	By 1st Author
	By Article Title	By 1st Author
	By Article Title	By Journal Title
	By Article Title	By 1st Author

③ **Sneeze reflex: facts and fiction** researchgate.net の [PDF]

M Songu, C Cingi - Therapeutic advances in respiratory disease, 2009 - tar.sagepub.com

Abstract Sneezing is a protective reflex, and is sometimes a sign of various medical conditions. Sneezing has been a remarkable sign throughout the history. In Asia and Europe, superstitions regarding sneezing extend through a wide range of races and ...

引用元 22 関連記事 全 5 ページ 引 用 保 存 そ の 他

出版社のサイトとは別のサイトで全文が入手できるのはなぜ？

学会誌の場合、商業出版社に刊行を委託しつつ学会 Web サイトでも論文を掲載している、一部の論文をフリーアクセスにしている場合がある。

また、近年は多くの出版社が著者最終稿までなら著者自身の Web サイトや機関リポジトリ、非営利のアーカイブ等への掲載を認めているため、検索エンジンで発見できる論文や Researchgate (研究者向け SNS) などで入手できる論文も増えている。

補足 Google Scholar で検索しても見つからない場合

日本の学会誌や大学・研究機関の紀要に掲載された論文は、JAIR O や Google Scholar で見つからなくても刊行母体の Web サイトに全文が掲載されている場合がある。

【研究機関発行誌の例】



国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所
 National Institute of Mental Health, NCNP

ホーム 病院 神経研究所
 IBIC 脳病態統合イメージングセンター 認知行動療法センター

TOP > 資料集 > 精神保健研究

精神保健研究

以下の資料がダウンロードできます。

精神保健研究61号 (3.16MB)
 精神保健研究60号 (3.7MB)

【学会誌の例】



 **日本運動疫学会**
 Japanese Association of Exercise Epidemiology

ホーム 会則 役員 会誌 学術総会 セミナー

日本運動疫学会 ホーム > 会誌 > 前号 | 次号

会誌 - 運動疫学研究

Vol. 17 No.1 (2015年3月)

目次 [PDF]

巻頭言 田中 茂穂 [PDF]

総説
 The Lancet Physical Activity Observatory: Monitoring a 21st Century Pandemic
 Pedro Hallal et al. p.1-5 [PDF]

加速度計による活動量評価と身体活動増進介入への活用
 笹井 浩行 他 p.6-18 [PDF]

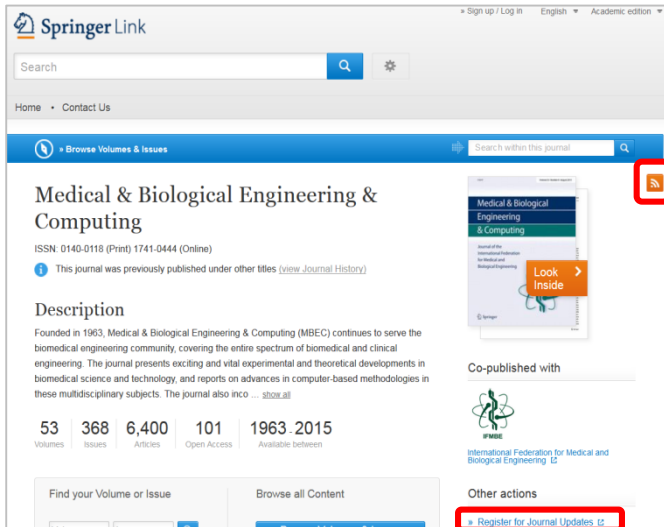
原稿
 WEBを用いた身体活動測定システムの3軸加速度計による妥当性
 難波 秀行 他 p.19-28 [PDF]

【番外編：知っておくとちょっと便利なツール】

① 最新情報の自動受信

多くの電子ジャーナルサイトでは、RSS フィードやメールアラートが利用できるようになっている。常にチェックしている電子ジャーナルのタイトルがある場合は、登録しておくが便利。

【SpringerLink の場合】



【ScienceDirect の場合】



② モバイル対応

スマートフォンやタブレット端末で閲覧できるモバイルサイトやアプリを提供しているジャーナルが増えている。論文本文を閲覧するには基本的に学内ネットワークへの接続が必要だが、中には学内から手続をすれば一定期間（概ね 3～6 ヶ月程度。出版者によって異なる）学外ネットワークからもアクセスできるようになるものもある。

サイト・ジャーナル名	説明	QR コード
EBSCOhost Mobile	EBSCOhost のモバイルサイト。アクセスするとサーバが機器の種類を認識し、自動的にモバイルサイトを表示してくれる。	
OvidToday	Journal@Ovid 収録の電子ジャーナルを閲覧できる iPad 専用アプリ。最新 4 号分が閲覧できる。学内から設定すれば、その後 90 日間は学外からも利用可能。	
PNAS Full-Text App	Proceedings of the National Academy of Science of the USA の公式アプリ。iOS, Android 対応。最初に学内ネットワークに接続した状態で設定すると、その後 180 日間は学外からも利用可能。	
Science Mobile	iOS, Android 対応の Science 公式アプリ。査読論文の閲覧は抄録までで、論文情報のメール送信機能が用意されている。	

③ 無料公開文献を探せる Web サイト

- Free Medical Journals <http://www.freemedicaljournals.com/>
無料で利用できる医学系電子ジャーナルのリンク集。
すべて公開されているものから、刊行から一定期間経過後に公開されるものまで、利用可能範囲はタイトルによって異なる。
- DOAJ (Directory of Open Access Journals) <https://doaj.org/>
無料一般公開の形態で刊行されている電子ジャーナルのリスト。Lund University 作成。
- ERBD-JP <https://erdb-jp.nii.ac.jp/ja>
国内刊行電子リソースの共有サービス。データ内容は各出版社の提供による。
- 国立国会図書館デジタルコレクション <http://dl.ndl.go.jp/>
国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、著作権保護期間満了や著作権処理済みなどの理由で一般公開されている図書や雑誌、博士論文、官報などが閲覧できる。